

第1子出産を機に7割が退職

# 女性の再就職を進めるために

労働力不足を補う喫緊の課題  
県民の強いニーズ

「行政に期待する取り組み」は？

「出産・子育てにより退職した女性の再就職を支援すること」

女性 = 1位  
男性 = 2位

「出産・子育て期(25~39歳)における男女労働実態調査」(県:平成17年11月実施)による

千葉県は、出産・子育て期と思われる30歳~34歳で、実際に働いている人と、潜在的な就業希望者との格差が、他県に比して大きい。(平成14年「就業構造基本調査」による)

千葉県 = 約32ポイント

全国 = 約27ポイント、埼玉県 = 約30ポイント、東京都 = 約22ポイント、神奈川県 = 約30ポイント

## 女性の再就職の課題

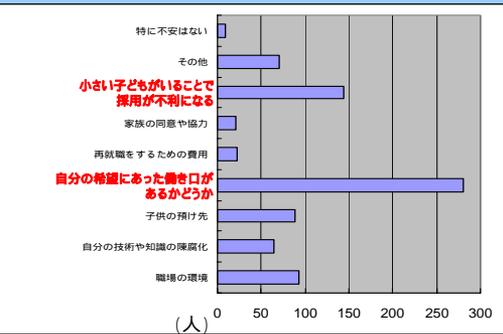
「ネット調査」(平成17年10月~11月実施)から見てきたもの

### 1 不安が多く、再就職への一歩が踏み出せない

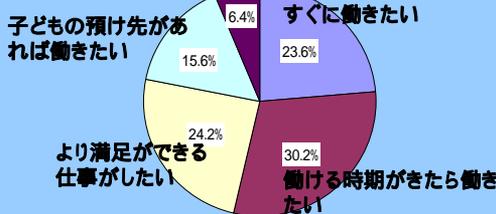
### 2 ライフステージの中で「希望する働き方」が変化

### 3 女性の求職ニーズと企業の求人ニーズとのミスマッチ

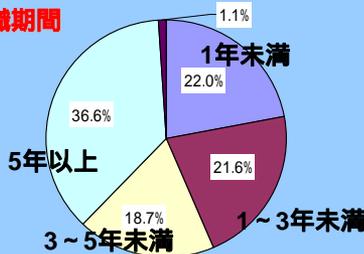
働こうとするにあたって障害になること、不安に思うこと



#### 現在の状況



#### 離職期間



#### 女性

- ・フルタイムで働きたいが仕事がない(38%)
- ・自分の希望する時間で働きたい
- ・子どもが学校や幼稚園に行っている間だけ働きたい(44%)
- ・ブランクはあるが、以前の資格やキャリアを活かした仕事をしたい...

#### 企業

- ・労働力不足である
- ・即戦力がほしい
- ・正社員としては雇用できない
- ・時には残業もしてほしい
- ・OJTの余裕はない...



「女性の再就職支援 1万人ネット調査」から

企業ヒアリングや新聞報道等から

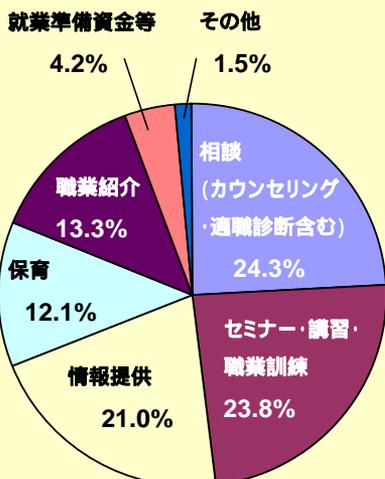
立ちふさがる壁を越える支援

「可能な働き方」を支援し、「希望する働き方」への道を拓く

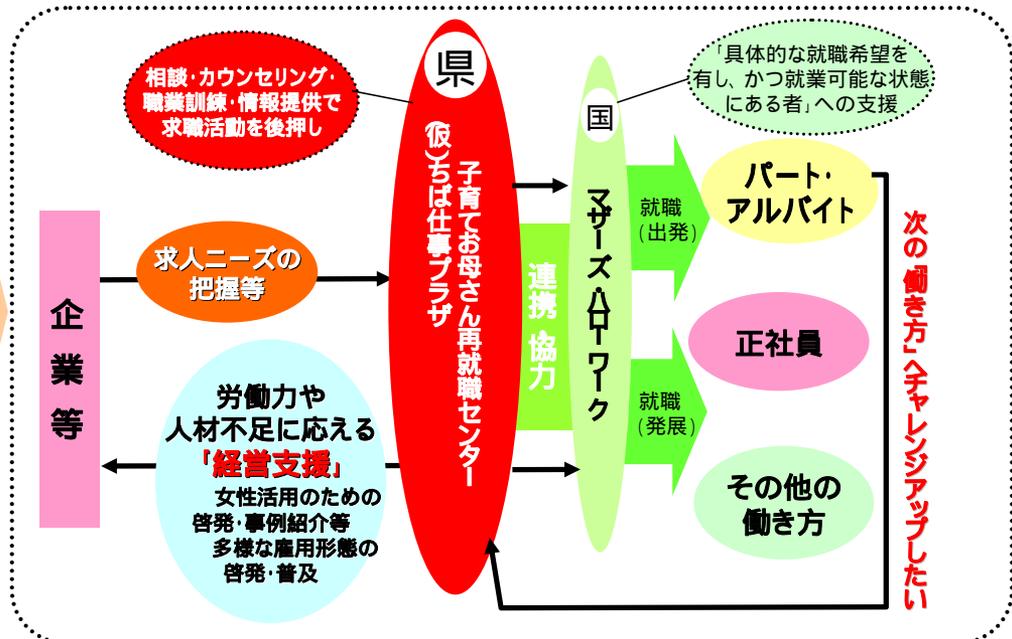
再就職市場の形成

## 再就職のため、どんな支援を望むか

(ネット調査による)

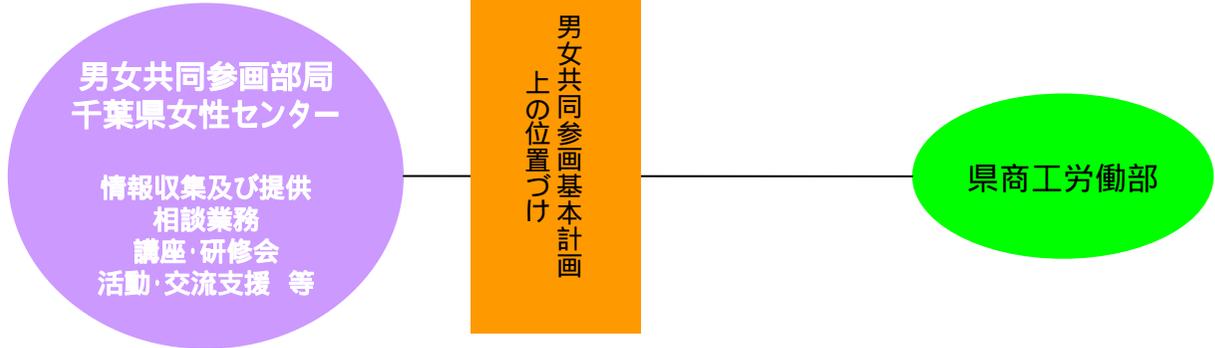


## 県と国との連携・機能分担で、女性の再就職促進(ちばモデル)



# 千葉県における女性チャレンジ支援策スキーム

## 現状



## 強化策

当県においては、県行政において男女共同参画の視点のもと、各施策を展開しているが、「女性の再チャレンジ」に関しては、それぞれの重要なツールを所管する各担当課との一体的連携において、本事業を実施することがより効果的であると考え、本スキームに基づき、事業展開していくこととしたい。

